授業づくり規準（芸術(書道)科）

Ｐ（構想）

力 要素	学習指導力 （授業における姿勢や指導方法等、 各教科等共通の授業づくりの力）	教科指導力 （芸術(書道)科の内容に関わる授業づくりの力）
学習者の実態把握	・学習者の発達段階を踏まえた上で、生活体験や学習経験は学習者によって異なることを意識している。 ・学習の方法や理解の仕方は学習者によって異なることを意識している。 ・学習者の性格や学習に対する意欲等を把握している。 ・学習集団の特質や、個と集団の関わりを把握している。 ・個々の学習者に対して、指導上配慮すべき事項を把握している。	・書写に関する学習者の既習事項（毛筆における「始筆･送筆･終筆」の用筆･運筆など）の習得状況等、学習内容の理解度を把握している。 ・表現(漢字仮名交じりの書・漢字の書・仮名の書)と鑑賞に関する学習者の興味・関心、意欲等を把握している。
教科内容に関する知識・技能		・学習指導要領、教科書記述の内容分析を通して、学年内、全学年の系統性や指導内容を把握している。 ・教材や題材の本質を理解している。 ・教科内容に関わる知識や、探究するための態度・技能を持っている。
目標の設定	・学習は、学習者自身の主体的・探究的な活動によって成立することを理解している。 ・学校の教育目標や課題を踏まえ、育てたい力を捉えている。 ・学習を通して学習者の自信を深め、自己肯定感を高めるという意識を持っている。	・学習指導要領の目標及び単元の指導目標を明確に把握し、観点別評価規準の評価観点に照らして捉えている。 ・各授業の指導目標を教科における単元の指導目標に明確に関連付けている。
単元(題材)計画 (授業計画)	(学習指導案の作成) ・学習指導案の重要性や、目標、内容、方法等の指導案の形式の意図を理解し、指導計画を表現している。 (評価計画) ・具体的な到達目標とそのための適切な評価方法を選択・計画している。 ・自己評価、他者評価等、学習者が学習を改善するための手だてを考えている。	(単元計画の作成) ・学習指導要領の目標及び教科の指導目標を達成でき、学習者が知識･技能を体系的に獲得できる単元計画を作成している。 ・学習者の実態に合わせて、指導内容に重みを付けたり、配列を工夫したりするなど、単元計画を作成している。 (評価計画) ・指導目標に照らした評価計画を作成している。
授業の構成	(学習方法・形態の選択・組織) ・目標を達成するために、学習者の実態を踏まえた適切な学習方法や学習形態を考えている。 ・新たな知識・技能・学び方等を発見したり、習得したりする喜びを実感できる授業を行うために、学習方法を改良・開発している。 ・主体的な探究活動や問題解決を考慮して、授業を組み立てている。 ・学習者が学習内容や学習の過程を振り返るための手だてを考えている。	(学習内容の構成) ・単元の指導内容及び単元全体の構造を深く理解した上で、書写の言語としての機能性ではなく、書道の芸術としての表現性を踏まえた内容を構成している。 ・単元の指導内容が教科の体系の中でどのような位置付けにあるのかを把握して学習内容を構成している。 ・「言語活動の充実」を意識して、書作品について、字形･調和･性情などの要素を踏まえた言語による批評･批正ができるようになる学習内容を構成している。 (教材・題材の選択・構成・開発) ・学習指導要領の目標を達成するのに適し、学習者の実態に合わせた教材を選択し、構成している。 ・指導教材を、自分自身で改良・開発している。 (板書等の計画) ・本時のねらいに即し、授業展開を予測した板書を計画している。 ・本時のねらいを達成するための有効な働き掛けや個への支援を計画している。

D（展開）

力 要素	学習指導力 （授業における姿勢や指導方法等、 各教科等共通の授業づくりの力）	教科指導力 （芸術（書道）科の内容に関わる授業づくりの力）
学習環境づくり	・学習環境が、学習者の安全や認知にどのような効果を与えるかを意識している。	・教科の目標や学習内容に応じて、学習者の行動や認知を推測し、学習環境を創造している。
学習への構えや学び方の指導	・学習者がどのような姿勢で学習に臨めばよいかを明確に示し、学習者に意識させている。 ・学習過程や自分の考えをまとめていけるようなノートづくりを指導している。	・教科の学び方を示し、学習者に意識させている。 ・教科の学習に関わる考え方やまとめ方、資料活用、必要な技術等の定着を図っている。
個や集団への配慮	・個への対応に具体的な配慮をしている。 ・集団における学習の大切さや、個の発言の集団への影響を意識している。	・学習者の学習状況や習熟度に応じた個への支援をしている。
音声・表情・所作	・話し方や表情・所作と学習者の反応との関連を意識している。 ・場面や目的、環境等に応じて、声の大きさ、話の速さ・緩急・強弱等の話し方や表情を工夫している。	
指導技術	（言葉遣い） ・学習者の発達の段階に応じた適切な言葉遣いをしている。 （説明） ・分かりやすい言葉で、端的に説明している。 （指示） ・目的を意識させながら、どんな行動をすべきかを明確に示している。 （発問） ・学習者が何を問われているか理解できる発問をしている。 （板書） ・見やすさを考慮し、視覚的に構造化するなど、工夫しながら丁寧に板書している。 ・学習者の様子を観察しながら、板書している。 （演技・表現） ・学習場面や教材の特性に応じて、適切であると考える演技をしている。 ・待つ時間や「授業のやまば」等を意識して授業を展開している。	（言語） ・用語を含め、教科指導に適切な言語を使用している。 （説明） ・学習者のつまずきやすい点を推測し、理解や納得が得られるように説明している。 （指示） ・ねらいや学習内容を踏まえ、必要とする場面で指示をしている。 （発問） ・ねらいを達成するために、学習者の思考を促したり、焦点化したりする発問をしている。 （板書） ・ねらいや学習内容を踏まえ、学習者の思考活動との関係をおさえて板書している。 ・教科の特質に応じた指導技術を身に付けている。 （範書） ・学習者の思考活動が深まるような範書をしている。 （教材・教具の活用、資料提示） ・学習者にとって、どんな教材・教具・資料がよいかを考え、活用している。（ICTを含む）
学習活動における即時的対応	・学習者の発言や行動を適切に受け止め、達成感、満足感を感じさせている。 ・学習内容に適した評価法を用意し、実施している。	・学習者の表現しようとしている意図を読み取り、教科の内容や学習方法に照らして理由をつけて認めた上で、適切な支援をしている。 ・授業計画と授業実態のずれに気付き、指導過程を修正することができる。

Ｃ・Ａ（評価・改善）

力 要素	学習指導力 （授業における姿勢や指導方法等、 各教科等共通の授業づくりの力）	教科指導力 （芸術（書道）科の内容に関わる授業づくりの力）
授業の振り返りと分析	・「指導と評価の一体化」を意識している。 ・授業によって、学習者がいかに変容したかについて、絶えず関心を持っている。	・指導目標に照らして授業や単元を振り返り、ねらいの達成の可否の原因を明らかにしようとしている。
改善に向けた手だて	・学習指導の方法の効果について、意識的・具体的に捉え、指導方法の改善に結び付けようとしている。	・教科指導について振り返り、改善点を具体的にし、授業改善に生かしている。